


 ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN  
**東日本 APM ニュース**

第428号 2007. 1/10

社団法人 東日本プラスチック製品工業協会  
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321  
 URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324  
 発行人 高橋 廣

目 次

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 平成19年 年頭ご挨拶..... 1 | 初笑いの記 (四季) ..... 4 |
| 連合会会長 年頭所感..... 2  | 工場見学報告..... 5      |
| 干支の話題..... 2       | 受講生募集案内..... 6     |

平成19年 年頭ご挨拶

【変化こそがチャンス】



社団法人 東日本プラスチック製品工業協会  
 会長 齋藤 森 作

新年明けましておめでとうございます。  
 皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新年にあたり 会員の皆様始め関係官庁、協力団体各位様には日頃のご指導、ご支援、ご協力に對しまして心より感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。

さて、我々業界におきましては昨年もまた原油高騰の影響により行われた数回の樹脂材料の値上げ、そして多くの成形加工会社が価格転嫁出来ずに非常に厳しい経営環境で推移した一年でした。

当工業協会の活動におきましては、重点事業のひとつ能力開発技能向上事業において佐山技能検定委員長の下、102名に及ぶ多くの新技能士を誕生させることが出来、それぞれの企業での今後の活躍を期待しているところでもあります。また懸案でありました事務所の移転も長年慣れ親しんだ銀座の地から築地に移し、新たな活動を開始いたしました。

今年もまた昨年同様に厳しい事業経営環境下で

のスタートとなりますが、本年は何か大きな変化のうねりが始まる年になるような予感がいたします。団塊世代が還暦を迎え始めることや少子高齢化、さらに人口減少など国内市場における大きなニーズの変化及び地球温暖化等々全てがより具体的に身近な問題となってくるものと思われまます。これらの変化やうねりについては、我々中小企業のモノづくりに底力を与えてくれるチャンスと捕らえ、消費者や顧客ニーズをしっかりと見究め、自

信を持ったモノづくりをしていく事が何より大切ではないかと思えます。

当工業協会といたしましても、これらの情報提供が出来るような活動を目指せたらと思っており、関係各位様には倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

平成19年が我々業界にとって良い年になることを信じ新年の挨拶といたします。

## 年 頭 所 感 ～業界の地位向上をめざして～

全日本プラスチック製品工業連合会 会長 山田 裕三

新春を寿ぎ御祝い申し上げます。

昨年にかけてない変化のあった年でありました。



その中でも特に原油価格高騰により原材料に大きな影響を受け大変な年でありました。プラスチック製品製造各社におかれましては、自助努力されて対応を計られたことと存じます。

また、最近の激しい環境変化には、業界を

挙げて対応していかなければならないと思っております。

ご存知のとおり国内は、中小企業の占める割合が80%以上となっており、そのうち、当業界では個人企業も含めた全体の企業数は26,000～27,000社に至っているのが現状の様であります。

業界の地位向上を計り、鉄に代わる重要な産業としてプラスチックがあるということ自負してやまない次第であります。今後は一段と「産・官・学」との連携を強化し、各社の発展を計っていく為の具体的な方策を講ずることがなによりも大切なことと考え、連合会としての活動をより活発にしていかなければならないと思っております。

いろいろと問題も山積していることは存じております。関係各位からは、なお一層の叱咤激励をしていただき、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 干 支 の 話 題

### <干支の話>

・2007年は亥年で、干支では『丁亥』（「ひのと・い」、「てい・がい」）にあたります。今年はそのような年になるのでしょうか。

・『丁亥』の『丁』という字の意味するところから見てみますと、『丁』は互いに対抗する勢力の衝突を現しています。従来の勢力を維持しようとする動きに対し、それと衝突して新しい勢力を突き通そうとする動きがあることを現しています。

<実例としては、日露戦争の帰趨を決した日本海海戦（1905年5月27～28日）における「丁字

戦法』が有名で、東郷平八郎連合艦隊司令長官と秋山真之参謀が実戦で用いた戦法です。北上するロシアのバルチック艦隊に対してその敵前で回頭し、『丁』の字の形で進路を遮り片舷から斉射、海戦史上稀有な完勝となりました>

・一方、『亥』は、木偏をつけた「核」と同義で、「何事かを生もうとしている」起爆的なエネルギーを示しています。これらから『丁亥』は、『丁』と『亥』が相俟って「なにが発生するか分からない。起これば爆発的な事象を起こす」ことを現していると言われております。ここから地震等の天変地異との縁が少なくなく、波乱が多い年周りと考えられます。

・実際、『亥』の年に限って、20世紀を遡ってみ

ますと、1923(大正12)年には関東大震災、1959(昭和34)年には伊勢湾台風、年後半からは「岩戸景気」が始まりました。1983(昭和58)年には三宅島大噴火、1995(平成7)年には阪神淡路大震災、円相場が戦後初めての1ドル80円突破、地下鉄サリン事件など、大きな災害や出来事が起っております。世界に目を転じますと、1911年には辛亥革命、1935年独ヒトラーの再軍備宣言、中国紅軍の「大長征」終了、1959年キューバ革命、1971年キッシンジャー米國務長官の訪中、ニクソン・ショックとスミソニアン会議での円切り上げ(1ドル=360円→308円)、1983年日米円・ドル委員会、1995年WTO発足などが見られます。

- ・さらに『丁亥』の年に限りますと、1707(宝永4)年の南海・東海大地震、富士山の大噴火、1947年のマーシャル・プラン発表があります。
- ・この『丁亥』の年は、新しい制度や政治が始まり、新興勢力が権力を手に入れるとも言われています。
- ・前回の『丁亥』の年(1947年/昭和22年)は、日本国憲法が施行され、また後の「経済白書」となる「経済実相報告書」では当時の経済実態が「国も赤字、企業も赤字、家計も赤字」(都留重人)とされ、我が国が戦後の新たな道を歩き始めた年でした。遡れば米沢藩主の名君上杉鷹山が改革を始めたと言われていたのもまさに『丁亥』の年です。2007年の『丁亥』の年には日本郵政公社の民営化も予定されております。新しい事業の展開や新分野への進出にはふさわしい年なのかもしれません。
- ・景気は回復が続き、平成14年来の拡張局面は昨年11月をもって戦後最長の「いざなぎ景気」の期間を上回ったとみられております。今年の経済情勢を展望いたしますと、海外経済の成長ピッチはやや緩やかになる見込みですが、個人消費や設備投資などの内需が景気を下支えし、息の長い回復が続くことが期待できそうです。
- ・最後に本年が皆様にとりまして、明るく伸びやかな一年となりますようお祈り申し上げます。

#### <亥年生まれ著名人>

亥年生まれの人は、忍耐強く向上心に富み、若年期に成功する人が多いといわれています。しかし、頑固一徹で融通が利かず、柔軟性に欠けるために折角の成功も保てないこともあるそうです。

明治以降の亥年生まれの著名人は以下のとおりです。

- 1875年(明治8年)  
柳田 国男(民俗学者)、松永安左衛門(経営者)、シュバイツァー(医者)、スターリン(政治家)
- 1887年(明治20年)  
山本 有三(作家)、重光 葵(外交官)、蔣 介石(政治家)
- 1899年(明治32年)  
川端 康成(作家)、池田 勇人(政治家)、ヘミングウェイ(作家)、ヒッチコック(映画監督)
- 1911年(明治44年)  
鈴木 善幸(政治家)、瀬島 龍三(経営者)、日野原重明(医者)、岡本 太郎(画家、彫刻家)、ロナルド・レーガン(政治家)
- 1923年(大正12年)  
三國連太郎(俳優)、大山 康晴(将棋)、遠藤 周作(作家)、司馬遼太郎(作家)
- 1935年(昭和10年)  
小沢 征爾(指揮者)、野村 克也(野球)、大江健三郎(作家)、御手洗富士夫(経営者)、小山 明子(女優)、エルビス・プレスリー(歌手)
- 1947年(昭和22年)  
星野 仙一(野球)、ビートたけし(映画監督)、尾崎 将司(ゴルフ)、小田 和正(歌手)、ヒラリー・クリントン(政治家)、スティーブン・スピルバーグ(映画監督)
- 1959年(昭和34年)  
山口 百恵(歌手)、榎原 郁恵(タレント)

#### <亥年に起こった出来事>

- 明治44年
  - ・辛亥革命
- 大正12年
  - ・関東大震災
- 昭和10年
  - ・ヒトラーの再軍備宣言
- 昭和34年
  - ・伊勢湾台風・キューバ革命・岩戸景気始まり
- 昭和46年
  - ・沖縄返還協定調印
  - ・中国国連加盟、ニクソンショックと円切上げ
- 昭和58年
  - ・ロッキード事件で田中元首相に実刑判決
- 平成7年
  - ・阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件
  - ・円急騰 1ドル80円突破  
(商工中金調査部編「干支の話題」より抜粋)

## 初笑いの記 (四季)

○月○日 紅葉した柿の葉が吹き飛ばされまいと枝先にしがみついている寒い日。

1匹の仔犬がきた。足の悪い女房が医者散歩するよういわれ、その相棒にと連れてきたのだ。

生き物は手がかかるし、死んだ時が哀しいから嫌だと反対していたのにである。

女房の強引なやりかたに、わざと無関心を装っていた私の目の前に、「ハイ！」と仔犬を突き出した。目に不安、淋しさ、こころ細さを漂わせ弱々しくシッポを振っている。

“そんな目をするな！そういう目にオレは弱いんだ！”

「… よしよしよし…」

情は絶対移さねえぞと思っていたのに一瞬にして負けてしまった。この仔犬は三時間前まで、母親そして兄弟三匹と一緒にいた。それを毛並みがいいし、元気そうと、女房に選ばれて連れてこられたのだ。

仔犬にとっては一生の大きな分かれ目もこんな風に決まってしまうものか。私も45年前、女房に捕らわれの身となった。人も犬も同じだ。運命の出会いというものかもしれない。

○月○日 生意気にも血統書を持っていた。私にも女房にもない。私にあるのは血糖値注意書だ。

○月○日 “名前はレオ、でいーわね”女房のその一言で、レオに決まった。

我が家では、昔からものの決定権は女房にあったようだ。事後承諾が多い。手遅れなのだが。

○月○日 最初あれほど不安に怯えていたレオも一週間もしないうちに、腹を上に向けた大胆なポーズで寝るようになった。

結婚いらい、私が一度も聞いたことがないようなそれはやさしい声でレオをべた可愛がりする女房に安心感を覚え懐いたのかも知れない。

—あれから6年経った—

○月○日 深夜玄関を開けると、ちょこんと座り、前肢をついてうれしそうにシッポを振って待っている。嫉のいい女性のように

○月○日 急激なペットブームの上昇で関連グッズが高くなった。特に食料は種類の多さと高級なものには驚く。人間の残飯で飼われていた頃とは大違いで餌などと呼べない。

その他、トリミング、病気、衣類、玩具などを合計すると結構な金になる。これでレオが酒とタバコをやったら、完全に私より生活費が多くなる

だろう。

× × ×

今、レオは女房の恋人であり、私の遊び友達である。ジジとババ二人の生活の潤滑油である。

「レオ、お前が死んだら、私も一緒に死ぬからね」

と女房が言っているのを聞いた。

私には、間違ってもいわないセリフだ。

女房に犬と心中されては、たまらない。

平均寿命を考えてみた。レオはあと8～9年女房は17～18年。私はあと5～6年だ。

「なんだ、俺の死んだあとの話か、勝手にやってくれ！」それに私は女房とレオに先立たれる哀しみを味あわなくてすむのだ。ホットした。

「あしたも生き生きと遊ぼうな、レオ」。

\*友人が同窓会会報に載せた一文から抜粋したものである。己にも通ずることがある。笑いました。

昨年、工業用品部会の案内で「東京大学国際・産学共同研究センター」へ伺うことができた。

センター長は知る人ぞ知る横井秀俊教授である。先生は、それまで学問として認めてもらえなかったプラスチック成形加工学の今日の地位を築かれた恩人の一人である。そして1989年にはシリンダー内の可塑化現象を可視化させ、成形のファジーの1分野を解明されたことは、つとに有名である。

先生のご講演は、レベルが高く十分吸収することは容易ではないが、今回も成形のもう一つのファジーの分野である型内の成形挙動—流動挙動—不良現象の解明であった。これらは、まことに画期的なもので、さらに研究が積み重ねられれば、不良も科学的に容易に解決される時代がくることがうかがえると思われる。また、それらがナレッジマネジメントで集約化されれば、技能の介在する部分は、減ずる方向にあると推測される。

しかし、心配することはありません。いかに、研究が進み、集約化されても技術・技能の分野もまた新しいものが求められるようになるのです。これが止ることはありません。今回の講演会を拝聴し、改めて痛感した次第である。

2007年、容易ならざる環境であり、忍耐も必要ですが、一方ではプラス志向で、不撓不屈の精神を貫いてくださることを祈っています。

(案山子)

# 工場見学報告

JPO事務局

11月28日(火)埼玉県の金型メーカーを見学致しました。

今回はJPO主催で、日本金型工業会東部支部青年部会・天青会との合同開催でした。

この会社の主力製品は射出成形用大型金型と精密金型で、独自のホットランナーシステムによる多数個取り高速成形用金型など最新の技術も数多く持っています。長年培った金型技術に加え、最新IT技術の早期導入、時代の流れとも言える高速加工機の設備、などまさに時代の先端を行く工場でした、そして現在新旧加工機の入れ替えが完了に近づいていると言う事で、会社の方針のひとつである納期の大幅短縮を実現するための準備に入っています。また、製品試作用に多くの成形機(7台)を保有し、来年度には2500tの成形機も設置の予定です。

対応分野が広い金型設計・製作を行っている為にクリーンルーム仕様の金型製作室を持つなど、お客様の要望に応えるため数々の設備、工夫をされており、工場内を見学させていただく程に、同社の生産管理、品質管理体制等の素晴らしさを感じました。

会社の方針は、高品質と短納期を両立して完璧な金型作る!ということで、世界に通じる専門メーカーを目指し、改善のため様々な小集団活動を全員参加で行っています。活動の方法と、社内組織の風通しをよくする為のレイアウト等も大変参考になりました。

また多くの製造業が抱える問題として「職人的技術の継承」と言う事がありますが、こちらでは職人の技を後世に残し、高齢熟練技能者が持つ貴重な知識を社内で共有する為に設計・生産技術の形式知化、データベース化を進め、次世代への伝承を図っているそうです。

我々若手経営者にとって嬉しかったのが、質疑応答時に会社方針、中長期計画の構築法などを細かく、わかりやすくご説明頂けた事で、工場設備の素晴らしさもさることながら今後どうやって会社を運営して行ったらいいのか?という大きな問題に対するひとつの指針を示していただけたことで、参加された皆様がそれぞれ自社にフィードバックできるのではと感じました。

大変ご多用の中、私ども青年経営研究部会(JPO)のために貴重な時間を割いて対応して頂いた同社幹部の皆様には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



## 社団法人 東日本プラスチック製品工業協会

### 平成19年 新年賀詞交歓会のご案内

- ❖日時 平成19年1月17日(水)
  - 講演会 15時30分～16時40分
    - 講師 近畿バイオメディカル(株) 取締役 横田 爽次氏
    - 演題 「プラスチック成形における不良とクリーンルームの必要性」
  - 貢献者表彰式 16時45分～17時00分
  - 祝賀会 17時00分～18時30分
- ❖場所 上野精養軒 東京都台東区上野公園4-58 電話 03-3821-2181
- ❖会費 10,000円(お一人様)

**募集開始****東日本プラスチック専門学院****平成19年度 受講生募集要項****新入社員教育講座 プラスチック成形加工****〔募集要項〕**

- 応募資格 入社1年未満の従業員を対象  
学歴、性別、年齢は問いません
- 応募期間 平成19年4月9日(月)まで
- 募集定員 学科コース 30名(申込順で締切)  
実技コース 28名(申込順で締切)  
計測コース 20名(申込順で締切)
- 受講料  
学科コース 会員17,000円、非会員22,000円  
実技コース 会員20,000円、非会員25,000円  
計測コース 会員17,000円、非会員18,000円
- 講座開催日時
  - ◎学科コース 4月19日(木)・20日(金) 2日間  
午前9時15分～午後4時30分
  - ☆講習内容 成形法、成形材料、成形用金型、  
成形機械等の種類および特徴等について
  - ◎実技コース 4月21日(土)・22日(日) 2日間  
午前9時15分～午後4時00分
  - ☆講習内容 成形機械のしくみ、取扱操作方法、  
成形加工について
  - ◎計測コース 5月18日(金) 1日間  
午前9時30分～午後4時30分
  - ☆講習内容 計測の基礎、計測管理、計測器  
の正しい取扱、計測実習
- 講習会場
  - ◎学科・実技コース  
東京都立板橋技術専門校  
東京都板橋区舟渡2丁目2-1
  - ◎計測コース  
ミットヨ計測学院  
川崎市高津区坂戸1丁目20-1

**プラスチック成形技能講座「通信教育」**

(技能検定学科試験免除となる)

上級コース「1級技能士コース」

中級コース「2級技能士コース」

**〔募集要項〕**

- 応募資格 1級または2級技能検定の受検資格  
を有する方で学歴、性別、年齢は問  
いません
- 応募期間 平成19年3月31日(土)まで
- 募集定員 1級コース 30名(申込順で締切)  
2級コース 80名(申込順で締切)
- 受講料 協会会員企業 68,250円  
非会員企業 99,750円  
(同一企業から2名以上受講申込の  
場合1名につき2,000円の割引があ  
ります)
- 講座開始 課題送付 平成19年4月10日(火)から  
1年間
- 講座終了 修了 平成20年3月25日
- 指導方法 課題添削指導 8回13課題  
質問券指導 13課題  
面接指導 平成20年2月中旬に3日間  
25時間の講義を実施する  
会場は東京都内を予定
- 訓練科目 成形法、成形材料、成形機械、成形  
用金型、品質管理、安全衛生、電気、  
製図

**お問合せ・申込方法**

詳細については、受講案内、受講申込書をご覧ください。

**社団法人 東日本プラスチック製品工業協会**担当 こうたき 上瀧・松下

〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル1階

TEL 03-3541-4321 FAX 03-3541-4324